

【 こしがや市民活動連合会 発足までの足跡 】

- 2001年にできた中央市民会館内の団体活動室は、市民活動団体約80団体の登録があったが、団体間の横の繋がりがなく、組織的な連合組織を作る必要性の機運が高まっていた。
- 2006年2月11日に29団体が集まり「市民活動つなげる会・越谷」が発足し、団体間の連携を持った。
- 「市民活動つなげる会・越谷」の趣旨・目的は様々あったが、大きく以下の2点があった。

① 市民活動の拠点を作りたい。

- 2008年8月、越谷市長宛「市民活動サポートセンター」**設立要望書**を提出。
- その間、越谷市とつなげる会の有志で、川口、鶴ヶ島、松戸、仙台、京都等の市民活動センターを視察し、「越谷市サポートセンター設置を進める会」が発足され、理想と思える「市民活動支援センター」作りの構想を練る。
- 2010年1月21日～2011年3月31日「**市民活動サポートセンター設置準備検討委員会**」が越谷市協働安全部地域活動推進課担当にて設置され、市民活動の代表4人が委員となる。
- 2012年6月「**越谷市市民活動支援センター**」がスタートし現在に至る。

② 市民団体の活動を合同で発表できる「フェスタ」を開きたい。

- 2007年10月7日、第1回市民活動フェスタを28団体が参加して「ウエルカムコンサート」の名のもとに行われた。
- 2008年10月4日「第1回協働フェスタ」と名称を改め、現在9回まで行われる
- 2018年1月27日（土）に節目となる「第10回協働フェスタ」を開催予定で準備を進めている。

市民活動による **ウェルカム・コンサート**

私達の **市民活動** をこの会場で

日時: **10月7日(日)午前10時~午後3時30**
 場所: **越谷市科学技術体験センター(ミラクル)**
新越谷駅西口 徒歩 10分
 越谷市七左町 2-205-2 TEL.048-961-7171

入場: 無料

4階 多目的ホールでは

**劇・お話
バンド**

フルート演奏
ハワイアン
ゴスペル



前の公園や
1階エントランスでは

**各団体の
活動を展示**

2階 レクチャー室では

**各種相談
パソコン・介護・子育て・福祉等**

【主催】「市民活動つなげる会・越谷」
 【共催】越谷市
 【後援】越谷市教育委員会

お問合せ先: **市民活動つなげる会・越谷**
 越谷市東越谷 8-3081-29
 TEL 048-963-3460



1回目は28団体
 9回目は90団体と増え
 協働のまちづくりに寄与
 市の協力や協賛金により
 ポスターもカラーに進化

第9回 協働フェスタ

29/28(土)

越谷市内の市民活動団体
 行政・企業が一堂に会して
 展示や体験を行います。

同日開催「第3回まちづくり講演会」
 平成29年1月28日(土) 13時~15時
 会場: 越谷市中央市民会館 劇場
 主催: 越谷市コミュニティ推進協議会

J:COMチャンネル ネギッシュ公開収録
 13:00~ 3階ホール 入場無料
 出演者 越谷市出身 小林香菜 (タレント)
 吉川市出身 北条ふとし (吉本お笑い芸人)
 鉄道写真家 中井精也 (越谷市在住) 写真展
 2階市民ギャラリー

あなたが主役のまちづくり

楽しいイベントたくさん!
 大きなお世話なべ
 きずなスタンプラリー
 展示・体験・演出・模擬店

時間 午前9:30~午後3:30
会場 越谷市中央市民会館全館及び前庭

【問い合わせ先】
 越谷市市民活動支援課 TEL 048-963-9153

主催 協働フェスタ実行委員会
 共催 こしがや市民活動連合会
 越谷市
 後援 越谷市教育委員会
 公益財団法人 越谷市施設管理公社
 社会福祉法人 越谷市社会福祉協議会
 協賛 埼玉県都市健甦組合
 協力 越谷市市民活動支援センター
 J:COM 越谷

その後つなげる会として支援センターの 今後をどう考えるかを検討。

- 使い勝手が良くなったのか？
- 越谷市の市民活動の代表となり得るのか？
- 越谷市の市民活動団体の推薦枠のある会議の委員は、市民活動団体の意見をまとめていける代表が出席するのが良いということになる。しかし、当時、支援センターの登録団体は組織化されていないので、代表を出すわけにいかない。「市民活動つなげる会・越谷」は1メンバーに過ぎなく、支援センターの登録団体をまとめ組織化する必要性があった。
- 今後会がもっと広く市民活動団体の連携をもって、進めるようにするにはどうしたらよいかを役員会で検討し、会に新しい組織を創ることを提案した。

つなげる会の役目として

- 支援センターに登録されている当時の約110団体に働きかけ、横断的な組織を提案する事を決議。
- 「市民活動つなげる会・越谷」は新しい組織ができるまで運営し、設立と同時に発展的に解散する。

その後の経過及び活動

- 市民活動支援センター登録団体有志一同の名で、「組織設立のための発起人」の募集を実施。
- 連合組織を作る発起人会（仮称）の名のもとに、18団体23名の応募があった。
- 越谷市及び支援センターと、設立趣旨等を説明し協力体制が得られた。
- 2014年8月21日第1回の発起人会が行われた。主たる事業内容は次の通り

発起人会で提案された事業内容

- 会員団体の事業への協賛、後援、協力
- 支援センターの利用や運営に関する提言と協力
- 協働フェスタの開催
- 市民の知恵袋ネットワークの運営
- 定例会、研修会の開催
- その他必要と思われる活動

その後の経過と設立総会

- その後6回の発起人会を開催。
- 2014年10月16日20名の参加者及びオブザーバーとして越谷市小池調整幹及び支援センター鈴木所長列席のもとに第1回全体会議が開催された。
- 2015年4月5日高橋努越谷市長、越谷市協働安全部部長、越谷市市民活動支援センター長、市民活動支援課の課長及び調整幹に列席頂き、38団体70名が参加し、設立総会が開催された。
- 総会で「こしがや市民活動連合会」が正式名称として承認され、「こしがや市民活動連合会」が発足した。